

OpenBlocks A7

RS-485モジュール

ユーザーズガイド

Ver2.0.0

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

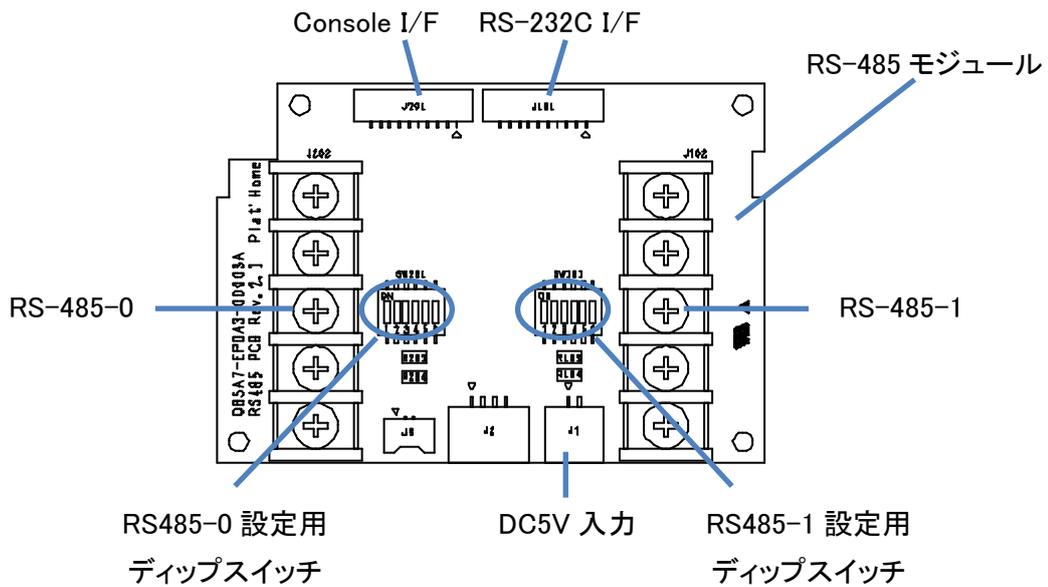
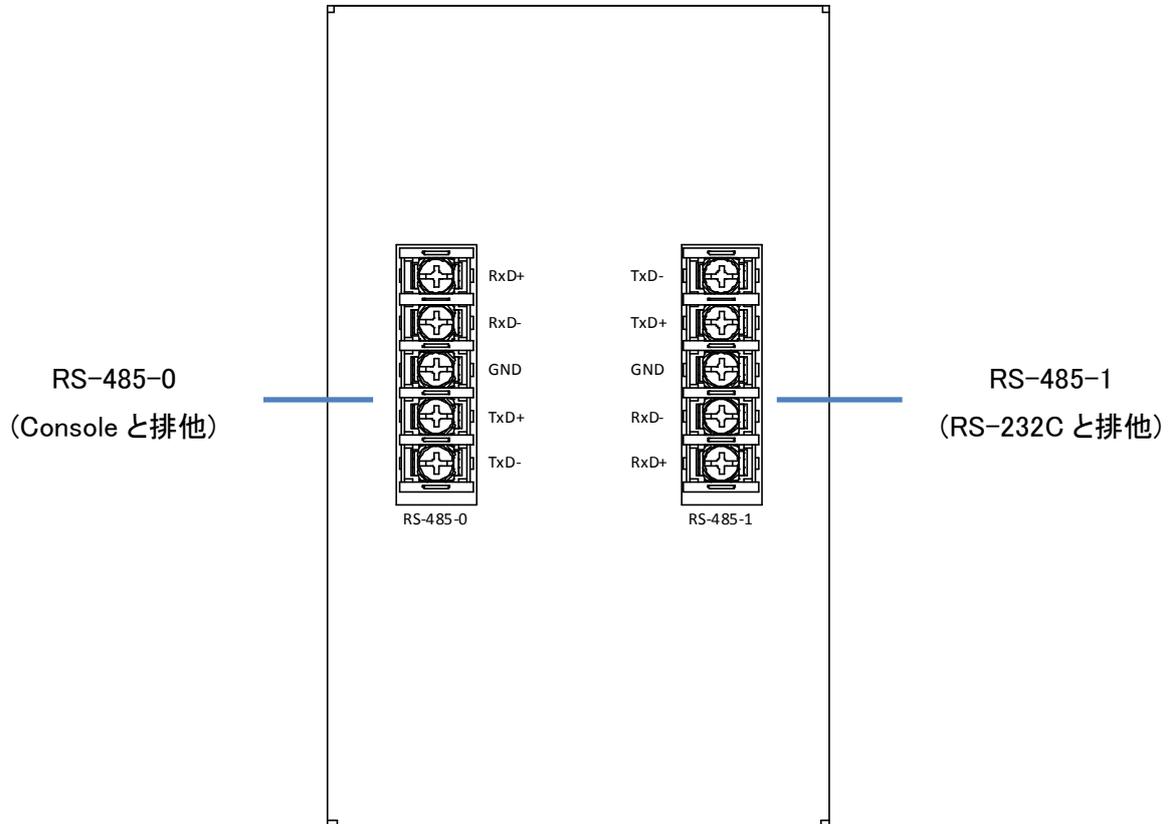
本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

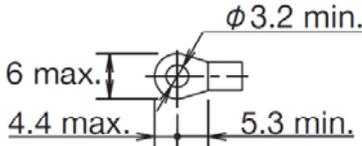
目次

1. 各部の名称	4
2. 製品仕様	5
3. コネクタ	6
3-1. ピンアサイン	6
3-2. 全二重／半二重の設定	6
3-3. Console ポートの利用について	7
3-4. デバイス名	7

1. 各部の名称



2. 製品仕様

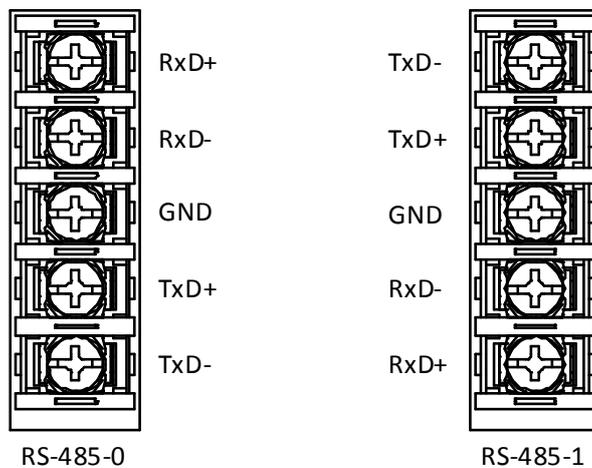
型番	OBSA7P/M/485, OBSA7P/M/3G485
RS-458 出力	端子台（端子ネジ：M3） 適合圧着端子（単位：mm） 
伝送距離	最大 1,200m以下（100kbps 以下）
通信方式	全二重 / 半二重 (内部ディップスイッチにて切替)
通信速度	最大 115.2kbps
終端抵抗	内蔵 (内部ディップスイッチにて切替)

3. コネクタ

3-1. ピンアサイン

上カバープリントに記載の通りです。

半二重の場合は、TXD-が T/R-、TXD+が T/R+となり、RXD-、RXD+は使用しません。出荷時は全二重となっています。半二重にする場合は 3-2 に従い内部ディップスイッチの設定を変更します。



3-2. 全二重／半二重の設定

使用する通信方式により、RS485 モジュール上のディップスイッチ（SW101 及び SW201）を設定します。（出荷時は全二重）

No.	全二重	半二重	備考
1	OFF	ON	
2	OFF	ON	
3	OFF	ON	
4	OFF	ON	
5	OFF	OFF	終端(送信側)
6	ON	ON	終端(受信側)

注意) 本機をホストシステムまたは最遠端ノード以外で使用する場合はディップスイッチ No.6 を OFF にしてご使用下さい。

3-3. Console ポートの利用について

本体前面の Console ポートは RS-485-0 と排他となっているため、本機の出荷状態では使用できません。但し、RS-485 の使用が 1 ポートのみの場合は RS485 モジュール J101 に接続されているワイヤーハーネスを外すことで、使用することが可能です。

(この場合は RS-485-0 ポートが使用不可となります)

本機では通常装置起動時に Console ポートから出力されるブートローダや Linux からのメッセージを停止しています。メッセージ出力を有効にするためには、本体底面のシールを剥がし、DIP スイッチ-SW4 を OFF に変更してご使用ください。

※ユーザズガイド「1.10 DIP スイッチの変更」も参照ください。



※ 図はイメージです

3-4. デバイス名

RS-485-0 : /dev/ttyS0

RS-485-1 : /dev/ttyS1

2014年2月

OpenBlocks A7 RS-485 モジュール ユーザーズガイド

ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F